

資料8

## 第30回鳥取県図書館大会の 開催結果について

# 第30回 鳥取県図書館大会 開催報告

鳥取県立図書館（鳥取県図書館協会事務局）

## 1 大会テーマ 「いま改めて考える『読書』の未来と可能性」

急速に変化するデジタル社会において、これから「読書」にはどのような役割が期待されるのか。生活様式の変化や「GIGAスクール構想」の進展、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の成立等の読書を取り巻く環境の変化も踏まえ、これからの未来へつながる新しい「読書論」について考えました。

- 2 主 催 鳥取県図書館協会
- 3 共 催 鳥取県書店商業組合、NPO法人本の学校、  
鳥取県学校図書館協議会、鳥取県公共図書館協議会、鳥取県立図書館
- 4 後 援 公益社団法人日本図書館協会
- 5 期 日 令和7年8月18日（月）
- 6 会 場 米子コンベンションセンター（米子市末広町294）  
小ホール、第1会議室・2会議室・3会議室・4会議室
- 7 参加者

	基調講演	事例発表	分科会1	分科会2	分科会3	分科会4	分科会5	合計
会 場	229(66)	221(66)	31(15)	69(21)	58(6)	55(10)	25(10)	250(67)
オンライン	66(23)	57(20)	9(6)	34(10)	15(4)	8(2)	—	75(25)
合 計	295(89)	278(86)	40(19)	103(28)	73(6)	63(12)	25(10)	325(92)

※登壇者・スタッフを含む。 ※（ ）は会員参加者数。 ※合計は総参加者数。  
※第5分科会のオンライン配信はなし。

## 8 内 容

### (1) 開会行事

挨拶：鳥取県図書館協会 会長 齋藤 明彦  
鳥取県教育委員会 教育長 足羽 英樹 氏  
米子市教育委員会 教育長 浦林 実 氏

### (2) 基調講演

演題：「若者の読書離れは本当なのか？ データから見る実態と、実際によく読んでいる本」  
講師：飯田 一史 氏（出版ジャーナリスト・ライター）

### (3) 特別報告・事例発表「読書と人とをつなぎ・つながる取組最前線

～子どもの読書環境を支える現場はいま～

報告者：鳥取県教育委員会事務局 社会教育課長 福本 哲也 氏  
事例発表者：北栄町立北条こども園 園長 竹本 幸子 氏  
日野町立日野学園 校長 砂流 誠吾 氏  
学校法人翔英学園 米子北高等学校 学校司書 高山 紫織 氏

### (4) 分科会

	テーマ（会場）	内容	講師・発表者・対談者
1	発進！移動図書館車 （第2会議室）	少子高齢化や過疎化により図書館への来館が難しくなる方が増えるなかで、積極的に本を届ける移動図書館車の活動から、これからの図書館サービスのあり方について学んだ。	＜発表者＞ ・鳥取市立中央図書館 館長 中島 泉 氏 ・町立みささ図書館 副館長 小椋 智子 氏 ・米子市立図書館 課長補佐 熊沢 菜穂子 氏 ・大山町立図書館 館長補佐 永井 美里 氏

	テーマ (会場)	内容	講師・発表者・対談者
2	電子書籍の未来 ～読書バリアフリー、教育現場編～ (小ホール)	電子書籍の登場により、読書バリアフリーの取組みや教育現場において、読書の可能性が大きく広がっているなか、これから電子書籍はどのような方向に進んでいくのか、電子書籍事業者に報告していただいた。	<発表者> ・株式会社 紀伊國屋書店 デジタル・流通事業本部 デジタル情報営業部長 西田 和之氏 ・株式会社 図書館流通センター 電子図書館推進部長 金子 哲弥氏 ・株式会社 メディアドゥ IP・ソリューション事業本部 出版ソリューション推進部 電子図書館推進課 シニアマネジャー 瀬尾 昌也氏
3	対談：大人も本を読んでいるといわれるけれど…。 (第3会議室)	鳥取市内で長年にわたり本を手渡し続けてきた書店主と本と人をつなぎ新しい本との出会いを届ける「読書室」主宰のお二人に、大人になってからの読書の意味についてお話しいただいた。	<対談者> ・定有堂書店 店主 奈良 敏行氏 ・読書室 主宰 三砂 慶明氏
4	NPO本の学校・特別分科会「ニジノ絵本屋の物語～本屋さんで、絵本の出版社で、絵本パフォーマー～」 (第4会議室)	絵本を売るだけでなく、絵本を作る、絵本を背負って様々な場所でイベントを開催する。既存概念を楽しさで吹き飛ばす絵本屋店主にその体験談を語っていただいた。	<講師> ニジノ絵本屋 代表 いしい あや氏
5	図書館応援団大交流会 (第1会議室)	県内で活動する図書館応援団が集い、その取組の紹介や情報交換を行った。	参加を希望する応援団の皆様

## 9 日 程

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会行事
10:15～11:45	基調講演
11:45～13:15	休憩
13:15～14:45	特別報告・事例発表
14:45～15:00	休憩
15:00～16:30	分科会

## 10 開催方式

会場及びオンライン開催 ※分科会は第1～4分科会の配信を行った。(第5分科会の配信はなし)

## 11 手話通訳・要約筆記等について

全体会に手話通訳者と要約筆記者を配置した。

## 12 とっとり県民カレッジ連携講座として開催。

## 13 情報交換会

日時：令和7年8月18日(月) 午後6時から 米子市『弥栄』で実施。36名が参加。

## 第30回 鳥取県図書館大会 アンケート【記述部分・主な回答】

### 基調講演の感想

- ・私が大学生であるため若者がよく読む本として紹介されたものたちを見て、中高生の頃に読んでいた本に似た傾向の本や書店でよく並んでいる本が多く、実際小中高生が読んでいる本に近い内容であると感じました。司書や教員などの関係者が本好きの人が多く、これが一般的に見ると少数派であるということをお忘れず、実際のサービス対象者の方々に寄り添っていく必要があると分かりました。
- ・若者が実際どんな本を読んでいるのか、どんな分野のどこがなぜ人気なのかを客観的に分析・説明していただき、非常に有意義だった。
- ・勉強や部活はもちろん、スマホ・ゲーム・テレビやYOUTUBEなどのメディアなど、中高生の選択肢が多い中、自分自身も中高生の読書離れを思い込んでいたように思うので、「10代の読書は大丈夫」と言ってもらって、とても心強く感じました。

### 特別報告・事例発表についての感想

- ・いろいろな立場の方から、本と人をつなぐ取り組みについてお話が聞けて今後の自身の活動への意識、よい環境づくりへ向けての考え方改革などにつながったと思います。
- ・幼稚園から小中高生までつなぐ取り組みが、読書生活が豊かになると思った。そのためには環境づくりが大切（物だけでなく人も含めて）だと感じた。
- ・一人一人の図書館人や教育者の働き、努力があって、子供たちが健やかに育っているんだなと改めて実感し、感動しました。
- ・様々な立場の方の発表が聞けてとても参考になりました。共通して感じたのが、読書推進には行政、家庭、学校、地域など様々な人達の連携が重要だと感じました。

### 分科会についての感想

#### 第1分科会

- ・移動図書館について自分は何も知らなかったと気づけた。ご苦労が多いと思うが人とつながることができるので羨ましいと思った。
- ・去年鳥取に移住してきたのですが、今まで住んだ場所で移動図書館を見たことも使ったこともなかったのですごく勉強になった。鳥取はやっぱ図書館先進県なんだなと感じました。
- ・電子書籍が普及するなか、本を直接手渡すことがいかに有意義なことであるかを改めて考える機会となりました。

#### 第2分科会

- ・知らないことがたくさんあり、勉強になった。導入されれば図書館のあり方や学習展開が変わるだろうなと思いました。
- ・学校図書館での電子書籍導入の話が詳しく聞けてとても参考になりました。また、電子書籍についても事業者ごとの違いも分かり、整理しやすかったです。
- ・発表の中であつたように、紙AND電子の考え方が重要だと感じた。それぞれ場面や利用する人の状況に合わせて使いわけていくことで効果が出てくるのではないかと思います。

#### 第3分科会

- ・本について語り合えることは、久しぶりにその時間に身をおいてみて幸福なかけがえのない時間だと改めて思いました。

- ・読書とはとても個人的なことだと思っていたが、語ることで深まることを知った。
- ・自分自身、社会人になってから読書離れを痛感しており、関心をもって拝聴しました。対談のなかで示されたいろいろな論点から、あらためて読書を続けることの意義を感じました。

#### 第4分科会

- ・いしいあやさんの「絵本のおもしろさを伝えたい」「絵本って楽しい」という思いが伝わる分科会だった。人との縁を大切にしていきたい。
- ・ありがとうございました。今日は来てよかったです。もっとニジノ絵本屋さんの本を読みたくくなりました。いっぱい元気をいただきました！ありがとうございました。
- ・ニジノ絵本屋さんのパワー、人との出会い、朗読パフォーマンス、とても心があたたかくなる時間でした。絵本のよさを改めて感じるひとときでした。ありがとうございました。

#### 第5分科会

- ・知らないことが多くあることがわかった。その地域ごとの特徴や目的などがありとても充実した時間だった。
- ・少人数グループでの意見交換大変有意義で参考になりました。
- ・本音で話し合えた。こういう方法で話し合うのはよい。

### 大会運営についての提案や、今後の大会で取り上げてほしいテーマ・講師、その他鳥取県図書館協会への意見・要望等あればお書きください。

#### <講師・大会テーマについて>

- ・地域資料、郷土出版をテーマにした内容も取り上げていただきたいです。
- ・不登校の子どもたちと読書。
- ・図書館の利用についてよい方向で多様化が進んでいると思うので、全国の図書館の状況をお話くださる内容に興味があります。

#### <運営方法について>

- ・交流会をランチミーティングにして応援団の人も他の分科会に参加したいです。
- ・事例報告だけでなくパネルディスカッションもあると面白いと思います。
- ・図書館の利用率をあげるための取り組み紹介やディスカッションがあってもよかったと思いました。

#### <その他感想など>

- ・鳥取県図書館大会は現地参加をして交流するのが大切だと感じました。分科会は選ぶのが酷なくらいすべてが魅力的なテーマでした。次回も期待いたします。
- ・今回は展示や販売、電子書籍ブースが大変充実していましたが、これらも大会の魅力とあらためて感じました。準備・設定には相応の手間も必要かとは思いますが、大会テーマに合わせて企画できると参加の呼び水にもなるのかなと感じました。関わっていただく範囲が広がることも取り組みとして好ましいように感じます。